

2023年度第1回札幌競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 北辰特別

北辰（ほくしん）は、北極星の異称。北辰旗と呼ばれた北海道開拓使の旗には、北極星をイメージした赤い星が描かれている。建物を建てる際にも同様の星が使われており、札幌市時計台や北海道庁旧本庁舎に見ることができる。

○ ライラック賞

ライラック（Lilac）は、モクセイ科の落葉低木。成木の高さは約6mになり、春になると枝先に白色や紫色の多数の小花を円錐状につける。ヨーロッパ原産で日本へは明治中期に輸入され、その日本最古のライラックは北海道大学植物園に現存している。また、札幌市の木に選ばれており、毎年5月頃には、大通公園でさっぽろライラックまつりが開催される。花言葉は「初恋」「青春の喜び」。

○ TVh賞

TVhは、札幌市に本社を置くテレビ北海道の略称。1989年開局で、TXN(テレビ東京)系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ HBC賞

HBCは、札幌市に本社を置く北海道放送の略称。ラジオは1952年、テレビは1957年開局でTBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 大倉山特別

大倉山（おおくらやま）は、札幌市北西部の山。「大倉山ジャンプ競技場」は、1972年に開催された冬季オリンピック札幌大会でスキージャンプ競技の舞台となり、現在も国際大会が数多く開催されている。

○ しらかばステークス

しらかば（白樺）は、カバノキ科の落葉高木。シラカンバともいう。本州中部の高原から北海道にかけて広く分布している。樹皮は白く、葉は三角状卵形で先は尖り、縁には鋸歯がある。春になると雄花穂が小枝から下垂する。樹は庭木になり、樹皮は天然の着火剤にもなる。

<第3日>

○ 積丹特別

積丹（しゃこたん）は、北海道西部、日本海に突出する半島。また、同半島先端部を占める町。名はアイヌ語の「シャクコタン（夏の村）」に由来する。沿岸一帯はニセコ積丹小樽海岸国定公園に属する景勝地。古くから漁業が盛んで、北海道を代表する民謡「ソーラン節」の発祥地と言われている。

○ 摩周湖特別

摩周湖（ましゅうこ）は、北海道東部、弟子屈（てしかが）町にあるカルデラ湖。周囲約20km、最大水深約212m。湖には流入する川も流出する川もない。日本で最も透明度が高いと言われ、北海道遺産に選定されている。霧の発生が多いことでも知られる。

○ STV賞

STVは、札幌市に本社を置く札幌テレビ放送の略称。テレビは1959年開局で、NNN（日本テレビ）系列。ラジオは1962年開局で、NRN（文化放送・ニッポン放送）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 阿寒湖特別

阿寒湖（あかんこ）は、北海道東部、阿寒カルデラ内にある湖。雄阿寒岳、雌阿寒岳の山麓に広がり、周囲約26kmで美しい菱形をなす。全域が阿寒摩周国立公園に囲まれ、2005年にラムサール条約登録湿地となった。また、同湖に生育するマリモは、1952年に国の特別天然記念物に指定された。

○ ポプラステークス

ポプラ（Poplar）は、ヤナギ科の落葉高木。幹は直立し、成木の高さは約20mに達する。日本では主に街路樹や庭園樹に用いられている。花言葉は「度胸」「勇気」。

○ 北海道新聞杯クイーンステークス（GⅢ）

本競走は、1953年に創設された重賞競走。当初は東京競馬場の芝2,000mで3歳牝馬限定戦として実施されていたが、2000年より開催場が札幌競馬場に移され、出走資格も3歳以上牝馬限定戦に改められた。

クイーン（Queen）は、「女王」「王妃」を意味する英語。

北海道新聞は、北海道新聞社が発行する日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 利尻特別

利尻（りしり）は、稚内の西方に位置する火山島。中央部にある標高 1721m の利尻山を中心に、円錐状の形をしている。利尻山麓には名水百選の湧水である甘露泉水がある。名はアイヌ語の「リイ・シリ（高い島）」に由来する。

○ 桑園特別

桑園（そうえん）は、札幌市のほぼ中心部に位置する地区。北部には札幌競馬場、南部には知事公館や道立近代美術館などがある。

○ 札幌日経オープン（L）

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ HTB賞

HTB は、札幌市に本社を置く北海道テレビ放送の略称。1968 年開局で、ANN（テレビ朝日）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 札幌スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社から発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの略称。北海道地方では、札幌市に所在するスポーツニッポン北海道支局が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ エルムステークス（GⅢ）

本競走は、1996 年に『シーサイドステークス』の名称で創設された重賞競走。第 1 回は函館競馬場で実施されたが、1997 年に札幌と函館の開催日割が入れ替わったことに伴い、札幌競馬場での開催となり、『エルムステークス』に改称された。

エルム（Elm）は、ニレ科ニレ属の植物の総称。日本ではその中でも特にハルニレを英名（Japanese Elm）からエルムと呼ぶ。ハルニレは沖縄を除く日本全土に分布するが、特に北日本に多く、街路樹や公園樹に用いられている。花言葉は「信頼」「高貴」。